

2021 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	岩村 英之
演習テーマ	経済学・統計学を携えて社会に出よう！
校外実習	実施しない
メール・アドレス	iwamura@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	まずはメールで連絡をください。
2022 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	2022 年度は特別研究のため開講しません。
授業概要	<p>「演習 1」では、経済学に縛られることなく、私たちの社会の様々な問題について基礎的な知識を得ることに取り組んで来ました。続く「演習 2A/B」では、本格的にミクロ経済学を学び、社会の様々な出来事-経済に限らない-を経済学の視点から眺めることで、さらに理解を深めたり、解決の方法を探ったりすることに挑みたいと考えています。また、新たに統計学の初歩を学ぶことで、自分たちの考えをデータによって「検証」することを意識していきます（実際に検証できるようになるにはもう少し時間が必要です）。</p> <p>「演習 1」と比べると、論理的に考える姿勢がいつそう要請されることとなります。なお、「論理的考える」とは出来事の因果関係を順序立てて、極力飛躍のないように推理することで、特別な能力は必要ありません。意識さえすれば、ほとんどの人ができるでしょう。</p> <p>「演習 2A/B」では、卒業論文について議論する時間もとります。</p>
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の様々な出来事をミクロ経済学の視点から眺めることを意識するようになる。 ・データによる検証について、統計学の基本的な考え方を理解する。
授業計画	<p>【第 1 回】ガイダンス</p> <p>【第 2 回】～【第 12 回】江口匡太 (2015) 『大人になって読む経済学の教科書』ミネルヴァ書房を中心に、現実社会の様々な出来事を経済学的観点からどう解釈できるか議論する。同時に、ミクロ経済学の理論も適宜参照し、ある程度理論的な側面の理解もすすめていく。</p> <p>【第 13 回】第 1 回卒業論文中間報告 (1)</p> <p>【第 14 回】第 1 回卒業論文中間報告 (2)</p> <p>【第 15 回】第 1 回卒業論文中間報告 (3)</p> <p>【第 16 回】ガイダンス</p> <p>【第 17 回】～【第 27 回】石井俊全 (2019) 『算数だけで統計学！』ベレ出版を参考に、データを用いた分析について学ぶ。実際に、自分の手を動かしてデータ分析も行う。</p> <p>【第 28 回】第 2 回卒業論文中間報告 (1)</p>

	<p>【第 29 回】第 2 回卒業論文中間報告 (2)</p> <p>【第 30 回】第 2 回卒業論文中間報告 (3)</p>
予習	毎回のゼミで何らかの新しい情報を提供できるよう、事前に当該箇所を読んで、疑問をみつけ、関連する情報を収集するようにしてください。
復習	毎回のゼミで議論したこと、そこから生まれた疑問・課題を manaba の掲示板に各自書き込んでもらいます。
授業に関する注意事項	基本的に、講義とちがってゼミは学生の皆さんとともにつくっていくものです。「こういうことがやりたい」という希望を積極的に提示してください。上に書いてあることはあくまで私の大まかな方針であり、細かい部分については皆さんの意見を積極的に取り入れていきたいと思えます。
教科書	特に指定しませんが、下記の参考書は購入しても損はないでしょう。
参考書	[1]江口匡太 (2015)『大人になって読む経済学の教科書』ミネルヴァ書房 [2]石井俊全 (2019)『算数だけで統計学!』ベレ出版
成績評価の基準	発表内容と議論への参加 (50 パーセント)、および各学期 1 回のタームペーパー (50 パーセント) で評価します。
関連 URL	http://hide-iwamura.sakura.ne.jp/website/
備考	2022 年度は特別研究のため演習は開講いたしません。しつこいようですが、この点をご確認ください。